

p.1 *Kuniaki KAWATA, Faculty of Applied Life Sciences, NUPALS*

新津川の環境を調べよう

新潟薬科大学 応用生命科学部
環境安全科学研究室

新津川は、多くの区民や児童の手で環境が守られ、身近な里川として親しまれています。しかし、その水環境について十分に調査されているわけではありません。

今日は、皆さんが簡単にとりくめる「水環境健全性指標」を用いて、新津川の環境を評価してみましょう。

Kuniaki KAWATA, Faculty of Applied Life Sciences, NUPALS
Faculty of Applied Life Sciences, Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences
K. Kawata

新津川水環境健全性指標調査に協力しました：2010年9月25日(土)

新潟市秋葉区役所の「新津川にぎわい・うるおいアップ事業」の一環として第二回「新津川水環境健全性指標調査」が行われました（会場：新津図書館および新津川、主催：秋葉区役所）。研究室の院生が現地調査などに協力しました。前回と今回の最終結果は、11月6日の「新津川シンポジウム」で公表の予定です。



新津工業高等学校の生徒さんが環境安全科学研究室で研究体験をしました：2010年7月28日(水) - 8月10日(火)

デュアルシステム（企業内実習）の一環として、新津工業高等学校の生徒さんが研究室の一員として大学での研究や生活を体験しました。

研究室では、「河川の水環境健全性評価」を研究テーマに、研究室の学生と共に河川調査を行い、環境の研究に取り組みました。



- 身近な水環境として新津川、能代川、早出川などを対象として、「水環境健全性指標調査方法」に基づいて、自然なすがた、ゆたかな生物、水の利用可能性、快適な水辺および地域のつながりなどの視点から、水環境を総合的に評価しました。その中で、水環境についての基礎的な知識を習得するとともに、今後の水環境の在り方について考えました。研究では、河川調査、データ解析、及び河川評価からなり、学生とのディスカッションを通じて、得られたデータを表計算ソフトを用いてとりまとめました。あわせて、河川水に含まれるイオンをイオンクロマトグラフ装置を用いて定量しました。デュアルシステムで実施した研究内容はプレゼンテーション用ソフトを使ってまとめ、最終日には、研究室のメンバー全員の前で、プレゼンテーションを行いました。最終日には焼き肉パーティも行いました。2週間にわたり、元気いっぱい!! 大変良く頑張りました!!!

新津川水環境健全性指標調査に協力しました：2010年6月12日(土)

新潟市秋葉区役所の「新津川にぎわい・うるおいアップ事業」の一環として「新津川水環境健全性指標調査」が行われました(会場：新津図書館および新津川、主催：秋葉区役所)。研究室の院生が現地調査などに協力しました。

新津工業高等学校の生徒さんがデュアルシステム(企業内実習)で研究参加しました：2009年8月17日(月) - 28日(金)

「新津川および能代川における水環境健全性の総合的評価」を研究テーマに研究室の学生と共に環境の研究に取り組みました。



- 身近な水環境として「新津川および能代川」を対象として、「水環境健全性指標調査方法」に基づいて、自然なすがた、ゆたかな生物、水の利用可能性、快適な水辺および地域のつながりなどの視点から、水環境を総合的に評価しました。その中で、水環境についての基礎的な知識を習得するとともに、今後の水環境の在り方について考えました。研究は、河川調査、データ解析、及び河川評価からなり、学生とのディスカッションを通じて、指標調査の問題点とその改良などについてとりまとめました。あわせて、河川水に含まれるイオンをイオンクロマトグラフ装置を用いて定量しました。また、学会に参加し、院生や他の大学などの研究発表を聞きました。デュアルシステムで実施した研究内容はパワーポイントを使ってまとめ、最終日には、研究室のメンバー全員の前で、プレゼンテーションを行いました。2週間にわたり、大変良く頑張りました!!!